

PASSTO

Monthly Report (7,8月)

(1) SUMMARY

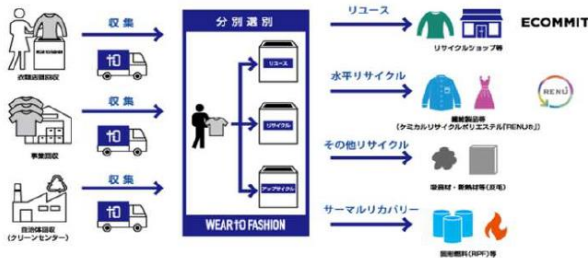
- 総資源回収量…194.2kg
- 資源循環率…99.6%
- CO2排出削減効果…150.1kg

(2) DETAILS

資源回収・選別結果

◎資源回収・再資源化の流れ

回収された衣類及び服飾雑貨は当社基準による選別後、リユース、リサイクル、アップサイクル、サーマルリカバリーへと資源循環されます



◎分別（再資源化ポテンシャル）結果

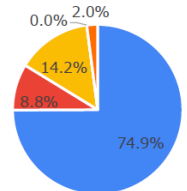
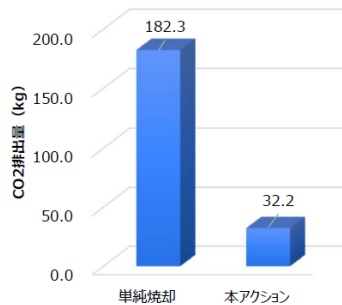
大分類	中分類	重量 (kg)	割合 (%)
リユース	国内向け	31.5	16.2%
	海外向け	149.1	76.8%
リサイクル	RENU原材料	3.5	1.8%
アップサイクル	反毛用途	9.3	4.8%
サーマルリカバリー	固形燃料	0	0.0%
廃棄		0.8	0.4%
合計		194.2	100.0%

環境負荷低減効果

◎CO₂排出削減効果
(単純焼却比)

150.1 kg
82% 減

◎工程別排出割合



■ 輸送工程
■ RENU原材料工程
■ 反毛工程
■ RPF製造工程
■ 焼却工程

- ※1: 回収した資源のうち廃棄分以外の割合
- ※2: 当社規定に沿った分別結果をお示ししております。
- ※3: エステル100%のサイクル品類の衣類を「RENU原材料」として扱います。RENU原材料はリサイクルプロセスを経て再生ポリエステル「RENU」として生まれ変わります。
- ※4: CO₂排出削減量は全ての素材を単純焼却した場合の総CO₂排出量と今回の国内向けリユース、リサイクル、アップサイクル、サーマルリカバリー、廃棄に係る総CO₂排出量の差から算出しております。
- ※5: 綿などの天然繊維、羊毛などの動物繊維については、焼却時におけるCO₂排出量はゼロしております。
- ※6: 廃棄物当量については全て焼却処理されるものと仮定しております。
- ※7: 本レポートにて算出した数値は環境省などのCO₂排出原単位などを用いた算出値であり、実際のCO₂排出結果や削減効果を保証するものではありません。
(参考資料)
- 国土交通省、自動車燃費一覧、トラック等・トラック燃費(平成26年3月)、https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr10_000019.html、2021-10-1参照
- 環境省廃棄物・リサイクル対策部企業環境課環境型社会推進室、3R原単位の算出方法、<https://www.env.go.jp/press/files/jp/19747.pdf>、2021-10-1参照
- 経済産業省、国土交通省、ロジステクス分野におけるCO₂排出量算定方法、共同ガイドラインVer. 3.1、<https://www.greenpartnership.jp/asset/46969/view>、2021-10-1参照
- 国土交通省、物流CO₂排出量算定ツールについて、https://www.mlit.go.jp/pr/shiryu/press/pdf/shiryu110530_1-2.pdf、2021-10-1参照



frente
SASAZUKA